

◇学校課題

- ①確かな学力の定着
- ②自ら求め、考え、判断し、行動する力
- ③心のたくましさ（失敗から学び、継続する、やり抜く、自分で考えてどうにかする、助けを求める）
- ④協働するための表現力、コミュニケーション力、行動力の育成
- ⑤安全・安心な生活への意識と行動力

〈家庭・保護者の願い〉

- 自分の考えが伝えられる子
- 正しい行動ができる子
- 自分も相手も大切にできる子
- 何事にも挑戦し、夢（目標）に向かって努力できる子

【学校の教育目標】

かしこく

～知恵のある子

なかよく

～思いやりのある子

たくましく

～こころとからだをきたえる子

◇願う学校像

自分から・共に

挑戦し、自信とたくましさを育む学校

- 1 できた・分かった喜びと主体的に学ぶに向かう子どもを育む学校
- 2 自他の良さを認め合い、よりよい生活づくりに挑戦する学校
- 3 家庭・地域とともに歩み、地域とともにある学校

《中津川市のめざす姿》

よりよいひとりだち

《方針》

生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成

「知識と知恵」⇒「生き抜く力」

○生き抜く力

・基礎基本を身に付け、当たり前の事が当たり前にできる力

・さまざまな学習や体験を重ね、それを活かして判断、行動する力

・よく調べ、理解し、自分の考えを整理して伝え、広める力

〈地域の願い〉 熟議の会より

【付知愛・付知が好きな子】

（付知に戻ってきてほしい）

- そのために・・・バイタリティー・挑戦・自分で考え、判断し行動・自分で求める・失敗からも学ぶ【力】を養う
- 土台・・・笑顔・幸福感・感謝・自信

めざす児童の姿と具現のための意図的な手立て

【学習部】学習・研究推進

めざす姿

- ◇自ら求めて学ぶことで、「分かった・できた」を実感する。
- ◇思いや考えが仲間に伝わるように話す。

（目指す姿に近づくための手立て・大事にしたいこと）

- 思いや考えを伝え合う場（授業・行事・集会・日常）
 - ・聞く、話す場面の意図的な設定
 - ・聞き方、話し方指導（相手意識）
- 「分かった・できた」を実感する授業づくり
 - ・必然性のある課題と出口の姿の共有
 - ・児童に合った学び方の提示
 - ・終末での本時の学びのアウトプット（確認・自覚）
- 基礎的な学力の向上をねらう朝活動の工夫
- 仲間と関わって高め合う集団づくり

指導の重点

- ①生きる力につながる学力の育成・力を付ける授業改善
- ②学び合い、次に生きる研究推進
- ③読書活動の推進

評価

授業がわかる96% まったくわからない0%

【生活部】生活・特活

めざす姿

- ◇実現したい姿に向け自分で考え、取り組み、自分のよさをつくる。
- ◇仲間とともによりよい生活をつくりあげる。

（目指す姿に近づくための手立て・大事にしたいこと）

- 自己有用感を育む特別活動
 - ・「なりたい自分」の設定
 - ・定期的な振り返りの場の設定
 - ・成果の可視化（よさみつけ）
- 主体的な取組を活性化する特別活動
 - ・課題の発見と共有
 - ・解決に向けての計画・実行・振り返り
- 健康的で安全・安心な学校生活づくり
 - ・自分の健康、命は自分で守るという意識の涵養

指導の重点

- ①「なりたい自分」づくりと「よさみつけ」への支援
- ②自治能力の育成と向上（係活動・委員会活動・特別活動）
 - あいさつ・掃除・体力向上
- ③自分の命と健康を守る取組（命を守る訓練・体力向上）

評価

学校へ行くのが楽しい90% 新規不登校0%

【学校経営の基盤 土台】一人一人のよさが輝く学級・学校

【教職員】「職員一人一人のよさを発揮して笑顔で挑戦」付知北小職員集団（ONE TEAM 北小）

「軸足は子供に」

- ①ねらいと活動を明確にした学校づくり
 - ・5期の年間計画に基づいてPDCAサイクルを実施 意図的に仕組む・実施後振り返る・次につなげる
- ①安心感と自己有用感のある学級づくり
 - ・授業・給食・掃除・行事などすべての学校生活の中で児童の良さが発揮できる場を仕組み、良さをみつけ、認め、伸ばす
 - ・児童のSOSはその日のうちに100%対応⇒組織で対応（報告・連絡・相談の習慣化、子供研の活用）
- ②児童が魅力・楽しさを感じる授業づくり
 - ・学びたいと思う導入と見通しがもてる課題の工夫 ・学び続ける個人追求と交流 ・できた分かったが実感できる終末
- ③子供、保護者、地域から信頼、まずは職員同士が信頼関係を構築
 - ・子供を軸に考え、「児童に」「保護者に」「地域の方に」そして「職員に」気持ち伝わる仕事を（誠実さ・謙虚さ・勤勉さ・協調性・コミュニケーション能力を発揮して）
- ④熱意と労務管理を両立した働き方改革
 - ・子供のためにという思いと教職員の心身の健康と家庭の時間を大切に
 - ・教職員が互いの仕事ぶりを気にかける 「ありがとう」が自然に言える雰囲気